



# 29年3月期 決算説明会

---

平成29年5月19日

株式会社セリア

**JASDAQ**

証券コード 2782

本日ご説明申し上げる今後の見通し等は、現在入手可能な情報から弊社の経営陣が判断したものでありますが、様々な要素により将来の事業を取り巻く環境が変動することも考えられます。

従いまして、将来の業績等につきましては本日ご説明申し上げます内容と大きく異なる可能性がございますことをご了承ください。

- 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも過去最高。
- 売上高営業利益率は、10.4%と前期(9.2%)を上回り、過去最高。
- 売上総利益率は前期から0.5ポイント上昇。  
(想定以上の円高により仕入価格が低下。雑貨、直営店の販売構成比増加も寄与)
- 既存店売上高は前期比103.1%と想定を上回る。  
(売上高販管費比率は前期から0.7ポイント改善)
- 直営店新店は、期ずれにより、計画150に対し、140店舗で着地。

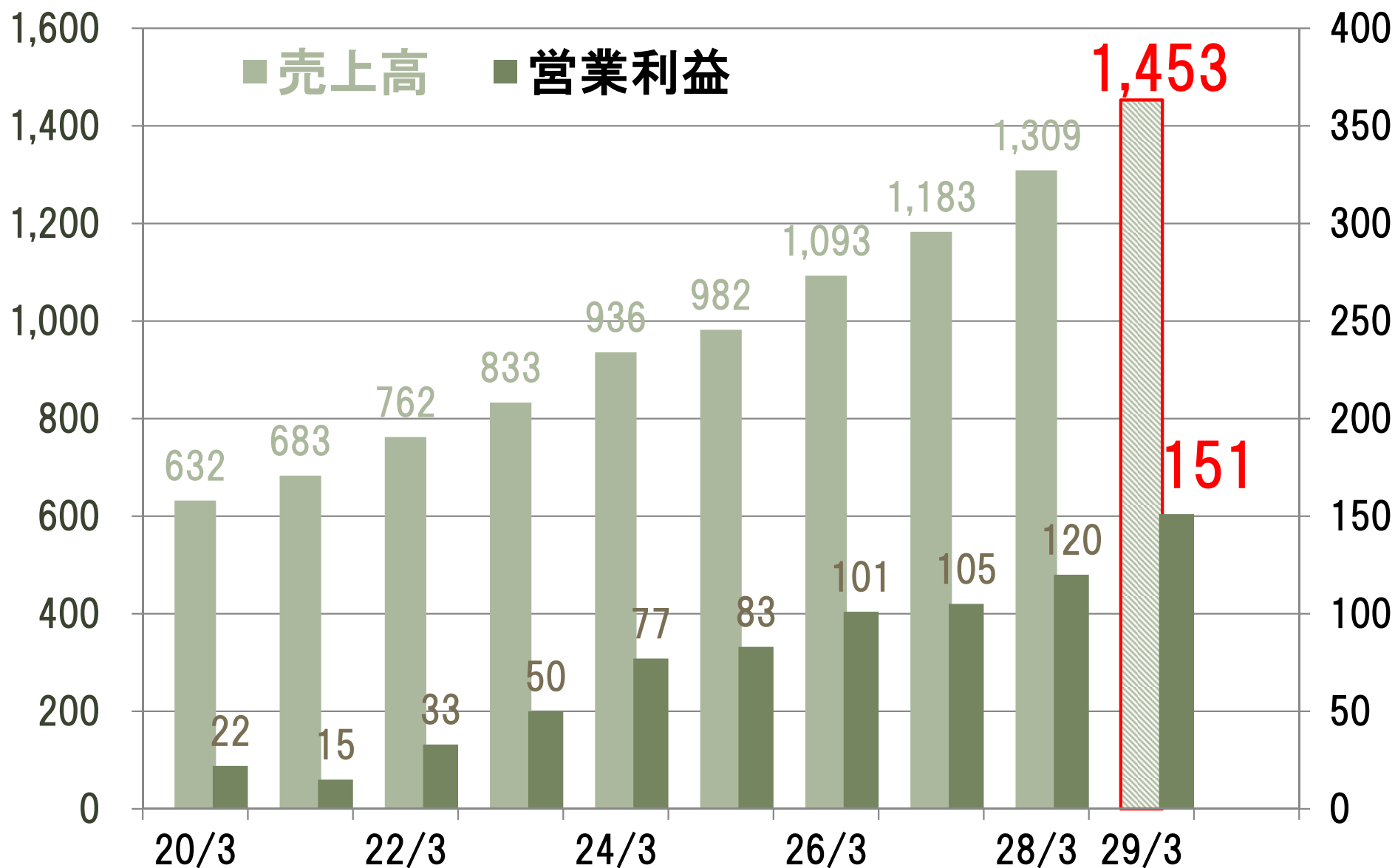
(単位:百万円)

	27年3月期	28年3月期	29年3月期
売上高	118,336 (+8.2%)	130,983 (+10.7%)	145,328 (+11.0%)
営業利益	10,521 (+3.2%)	12,016 (+14.2%)	15,171 (+26.3%)
経常利益	10,644 (+3.9%)	12,063 (+13.3%)	15,218 (+26.2%)
当期純利益	6,720 (+8.5%)	7,951 (+18.3%)	10,533 (+32.5%)

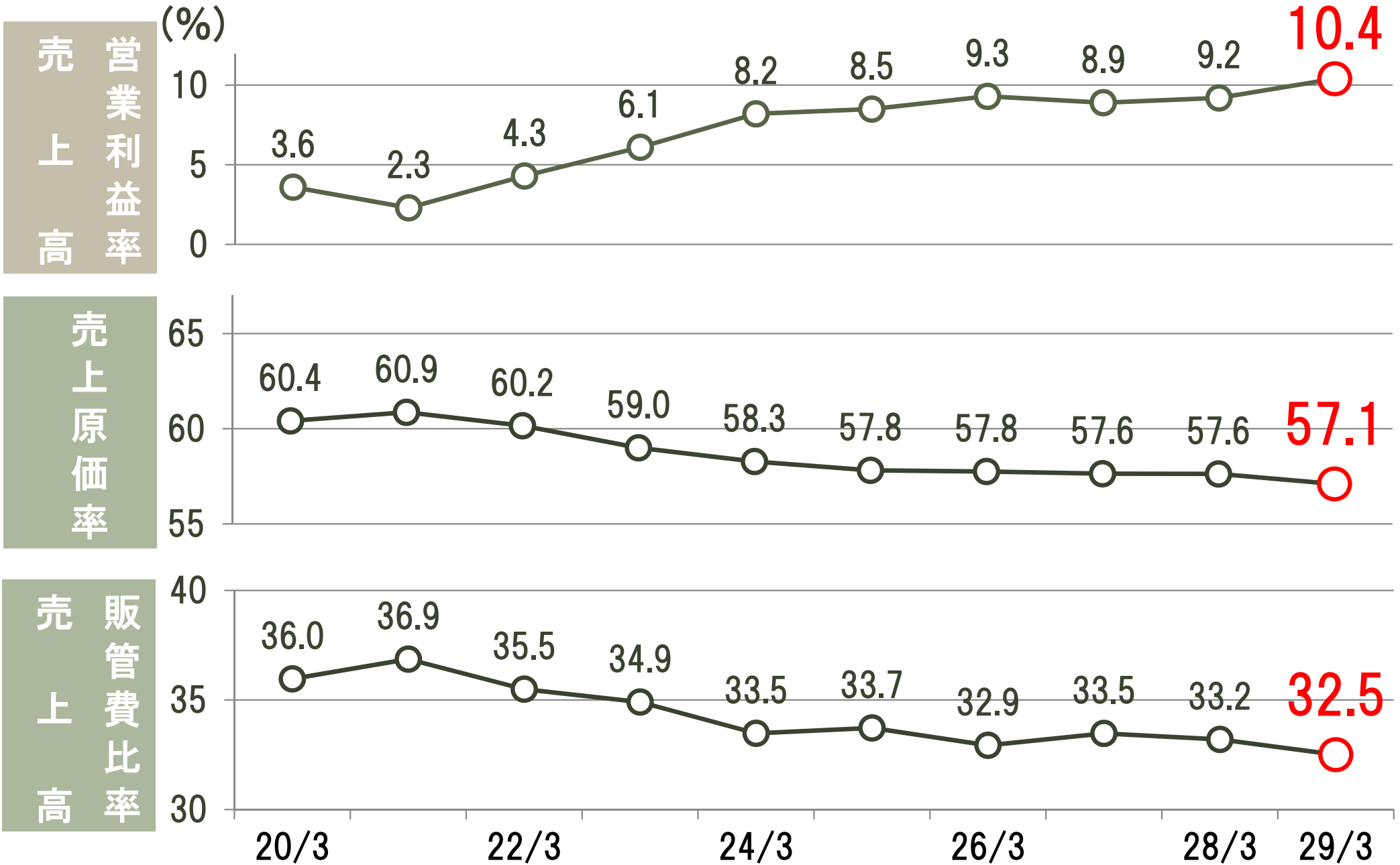
%表示は、対前年増減率

# 売上高・営業利益の過年度推移

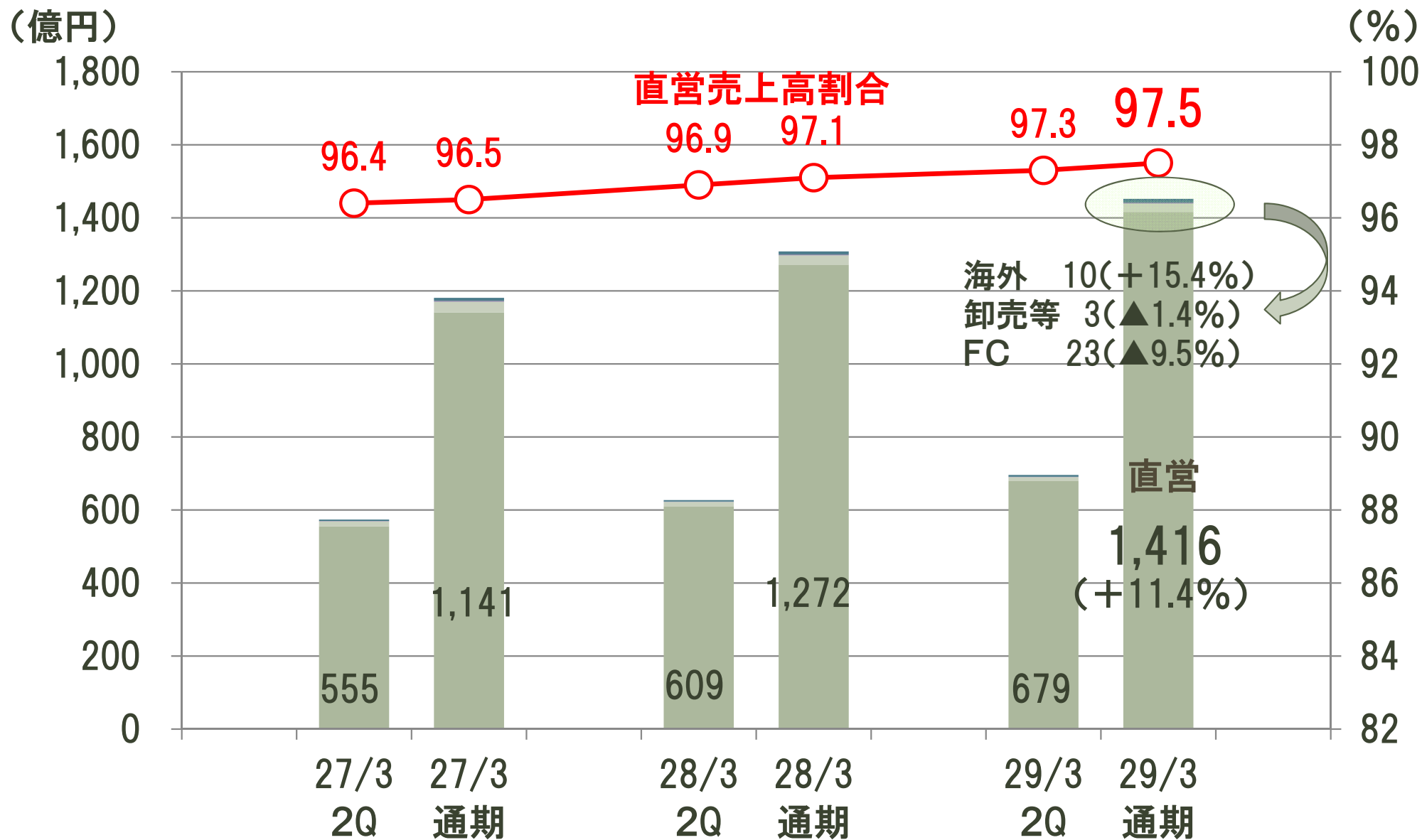
(単位:億円)



# 営業利益率・原価率・販管費比率の推移

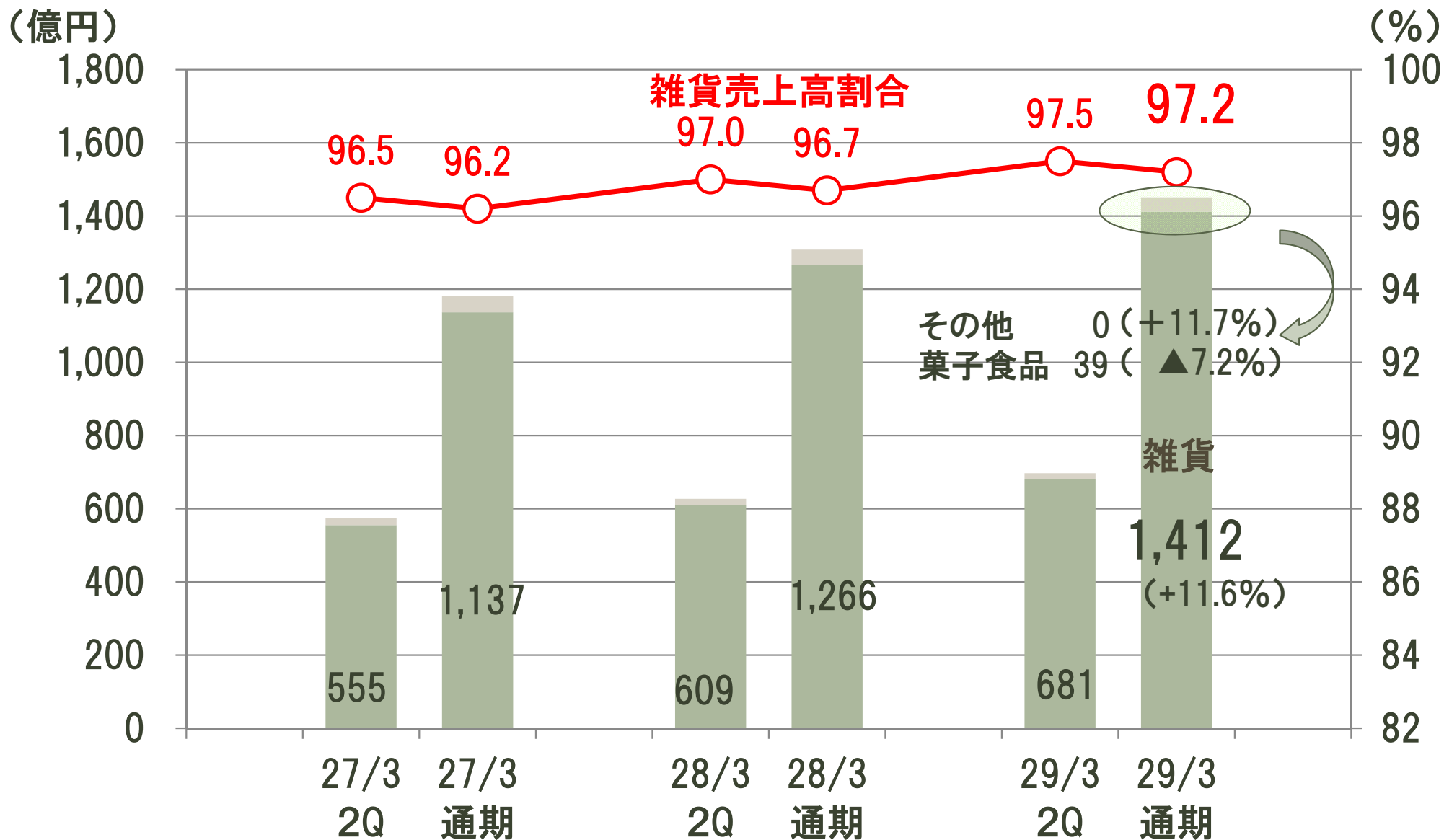


# 事業部門別売上高



直営売上高割合は継続して増加(前期比+0.4ポイント)。

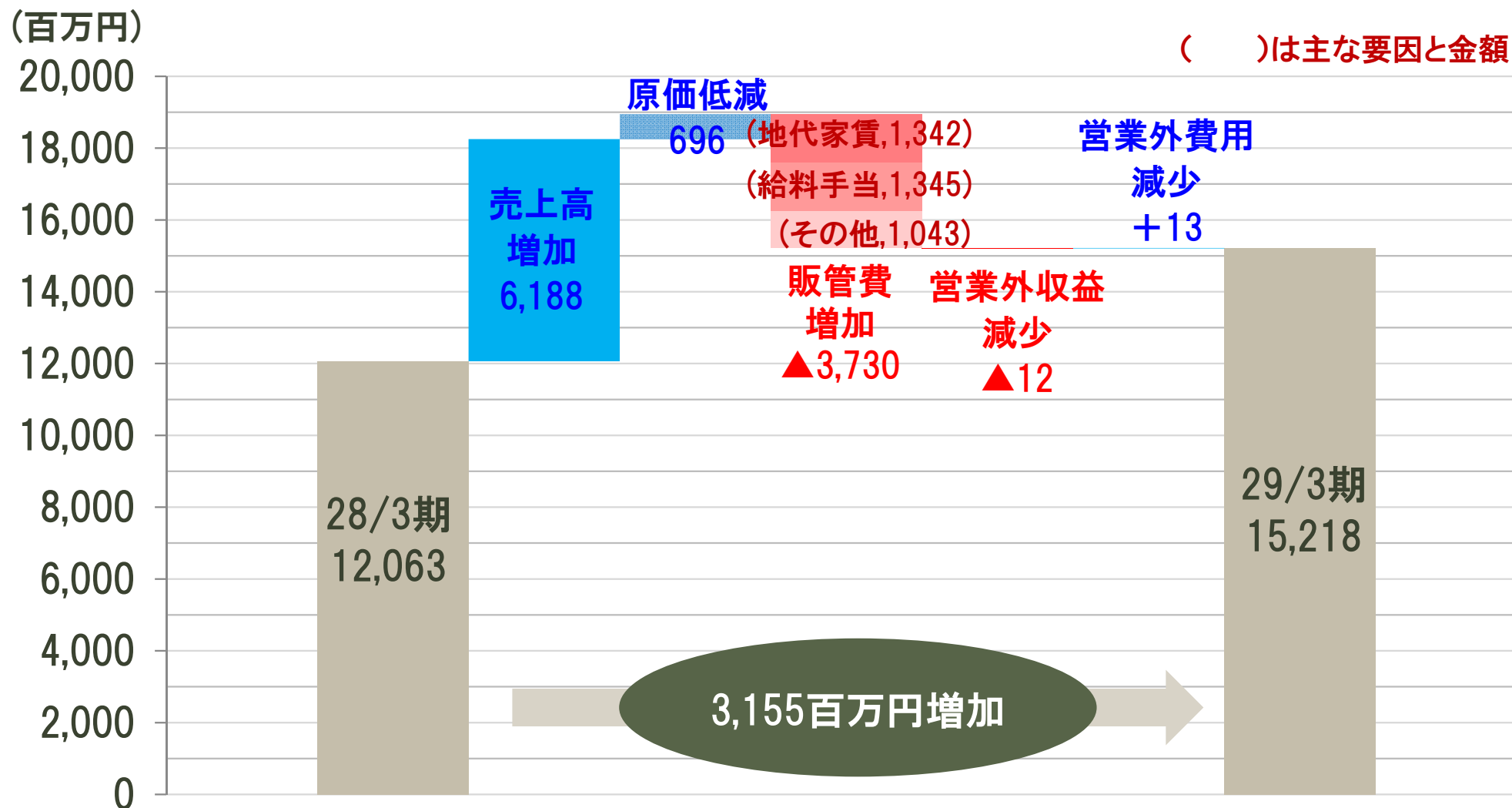
# 商品区分別売上高



雑貨売上高割合は継続して増加(前期比+0.5ポイント)。

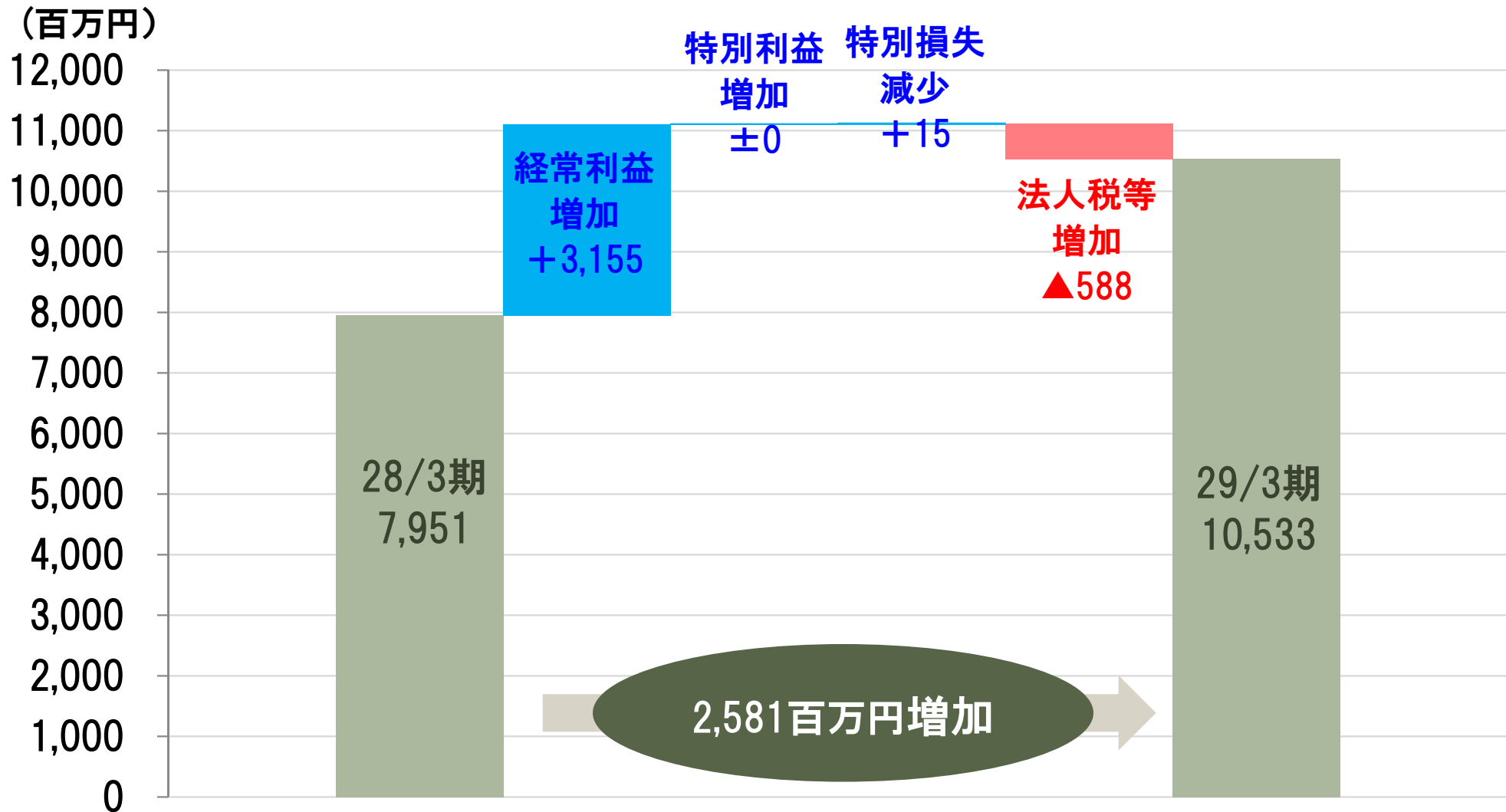


# 経常利益増減要因



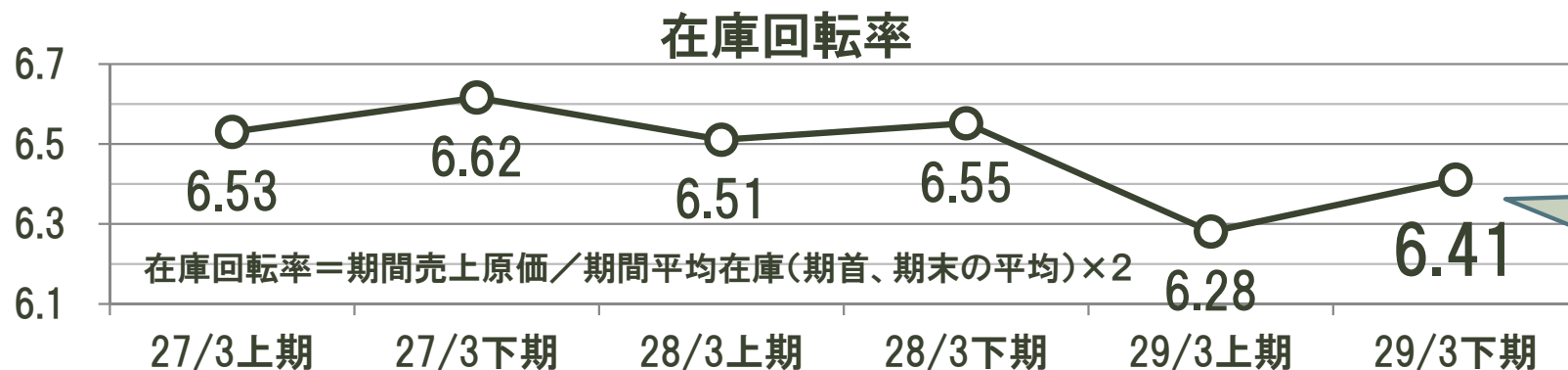
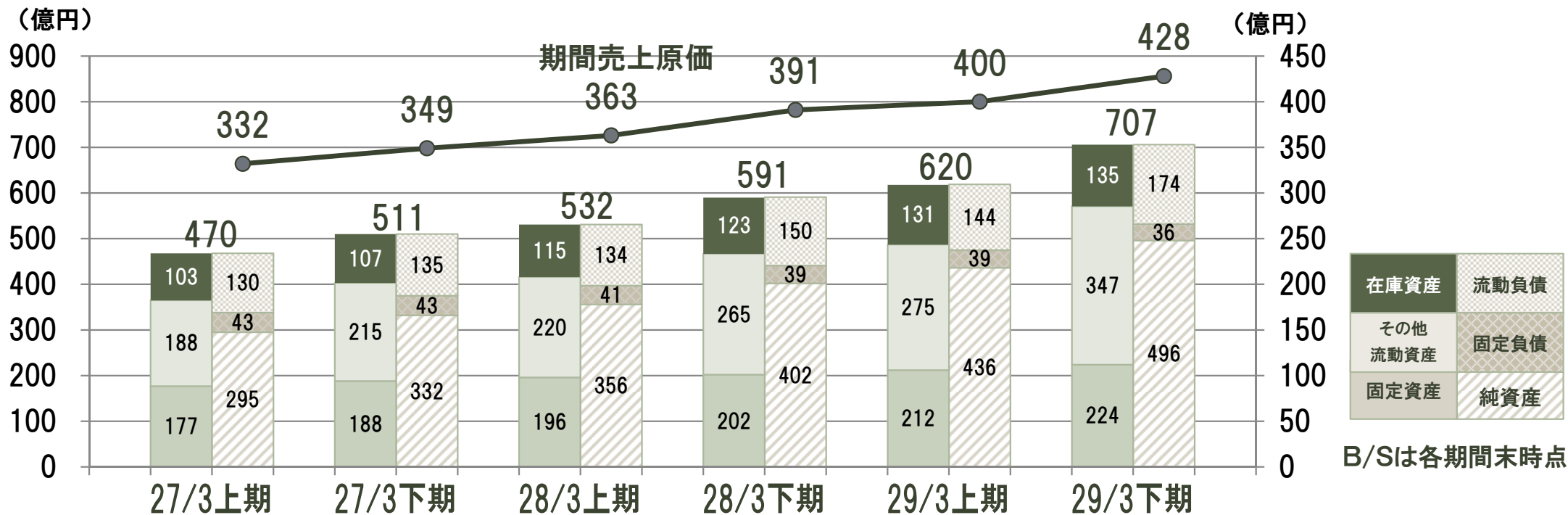
販管費の増加は、店舗数増加に伴うものが中心。

# 純利益増減要因



経常利益の増加以外は、特段の純利益要因なし。

# 在庫回転の状況



前年同期間比  
0.14低下

規模を拡大しつつ、在庫効率の維持・改善を目指す。

# キャッシュフローの状況

(単位:百万円)

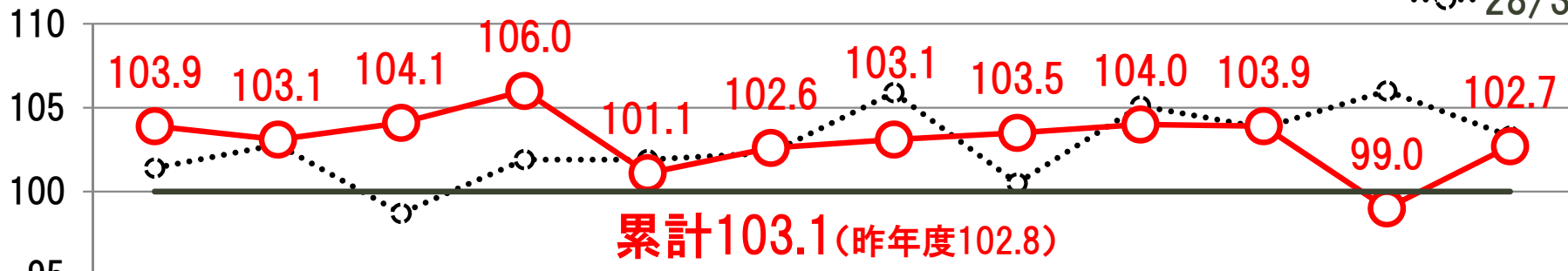
主要項目	前事業年度	当事業年度
営業キャッシュ・フロー	10,382	14,113
税引前四半期純利益	11,973	15,143
減価償却費	2,732	2,646
たな卸資産の増減額(増加:△)	△1,597	△1,196
仕入債務の増減額(減少:△)	1,245	1,044
法人税等の支払額	△3,530	△4,377
投資キャッシュ・フロー	△3,517	△4,054
有形固定資産の取得による支出	△2,767	△3,231
差入保証金の差入による支出	△1,046	△991
財務キャッシュ・フロー	△2,497	△2,244
借入・社債等(返済:△)	△810	△433
配当金の支払額	△947	△1,137
リース債務の返済による支出	△739	△673

投資CFの増加以上に営業CFが増加したため、投資余力は増加。

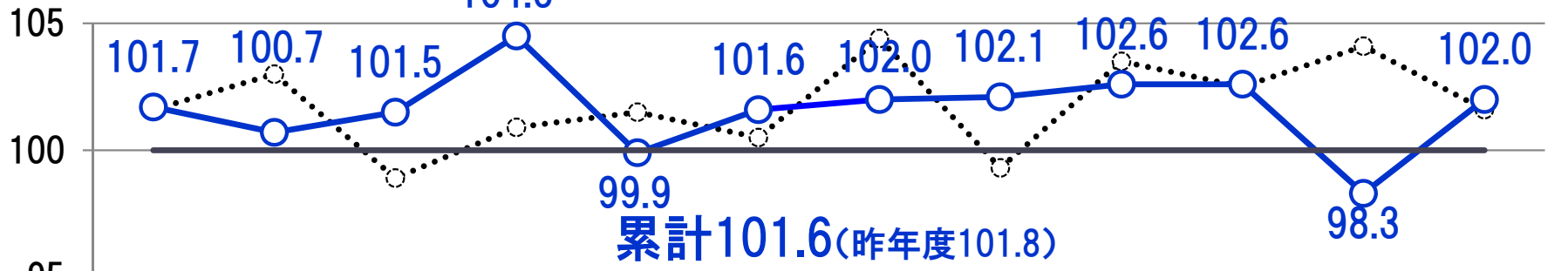
# 直営既存店前年同月比推移

28/3

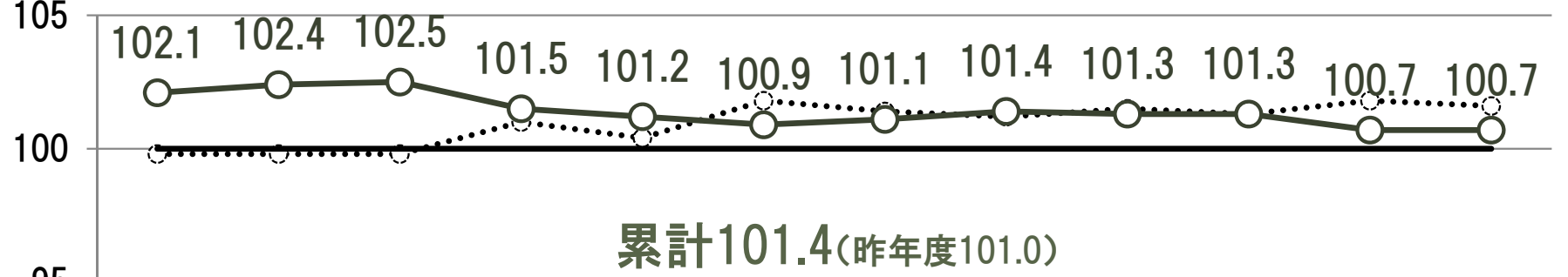
売上高



客数

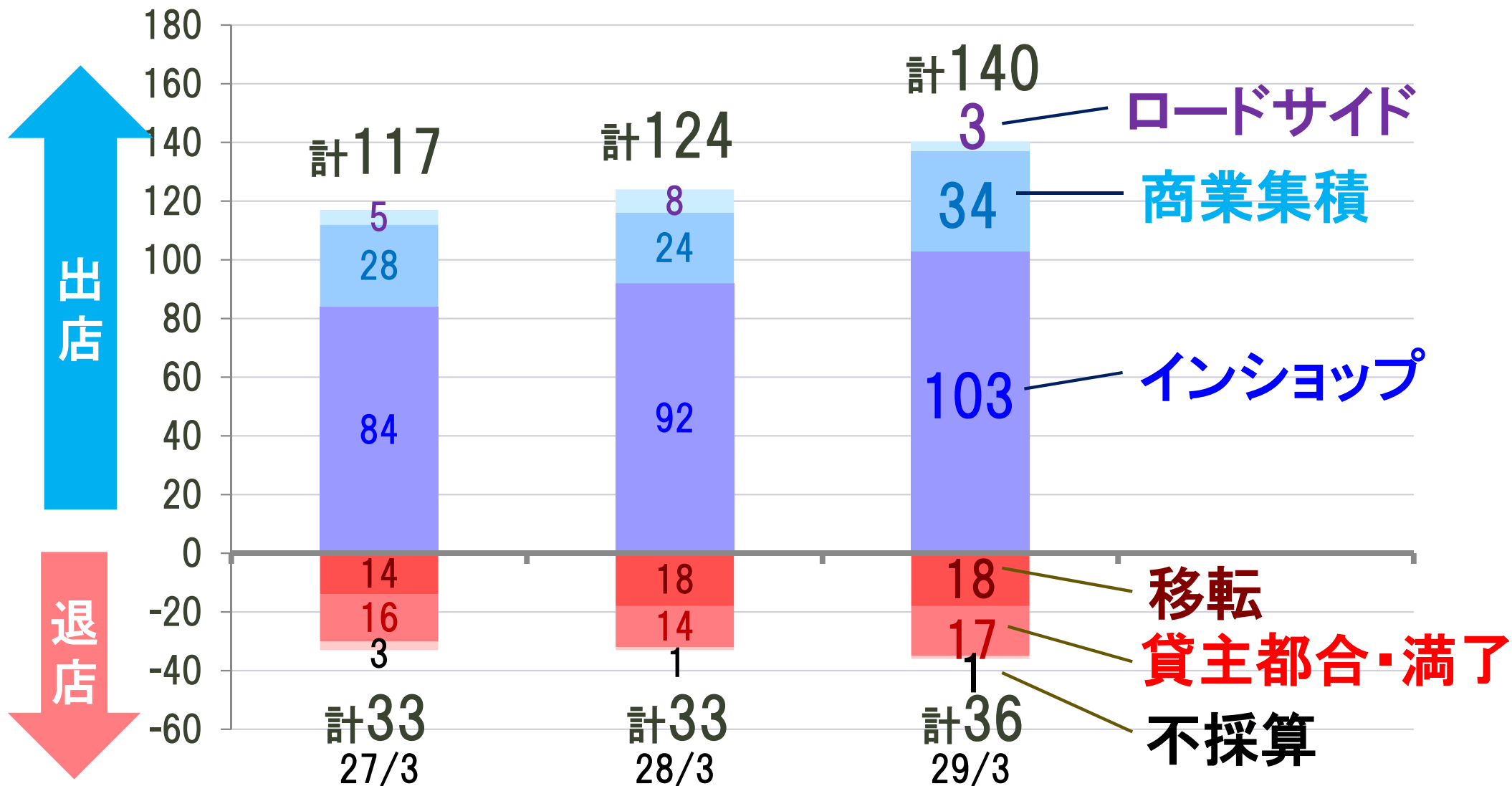


客単価



客数、お買い上げ点数、ともに増加し、想定を上回る。

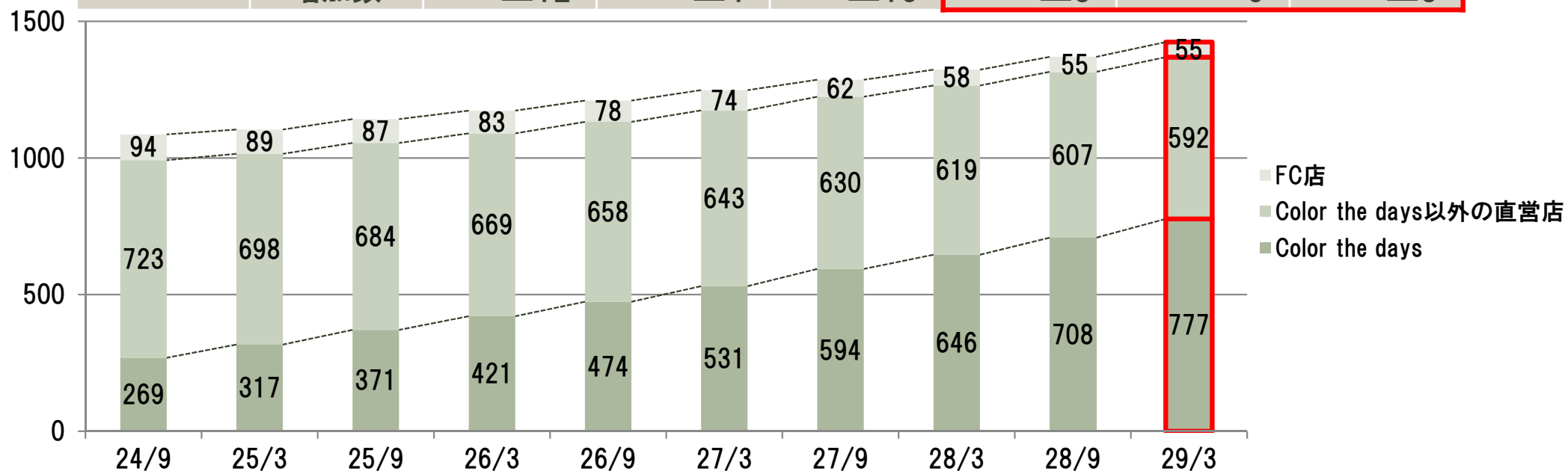
# 直営店出退店の状況



出店は期ずれを考慮すれば概ね計画どおり(計画150着地140)。

# 店舗数推移

		28年3月期			29年3月期		
		上期	下期	年間	上期	下期	年間
直営店	出店	66	58	124	67	73	140
	退店	16	17	33	17	19	36
	増加数	50	41	91	50	54	104
FC店	出店	0	0	0	0	0	0
	退店	12	4	16	3	0	3
	増加数	△12	△4	△16	△3	0	△3



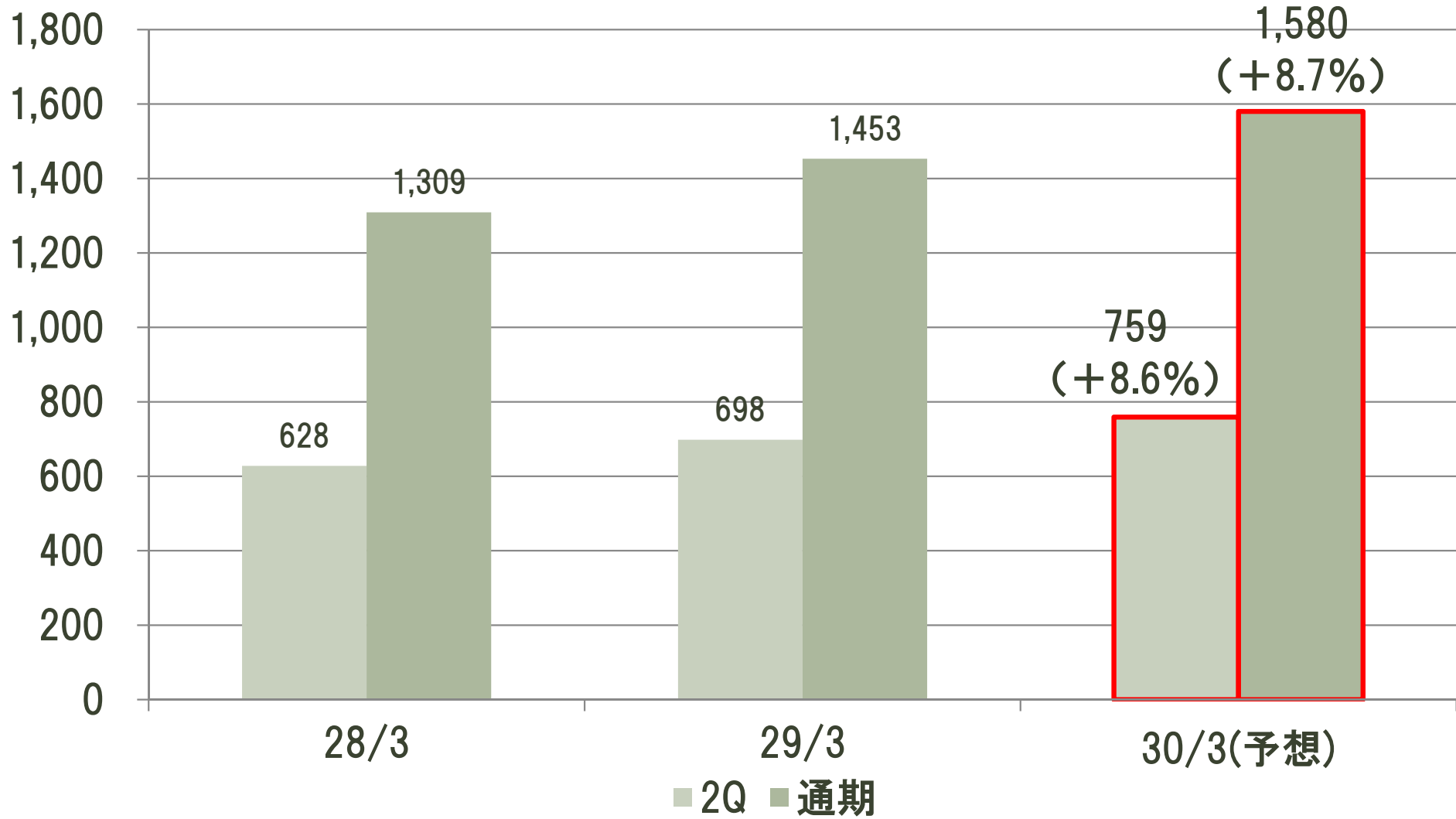
# 地域別店舗状況

		27年3月期			28年3月期			29年3月期		
		出店	退店	期末	出店	退店	期末	出店	退店	期末
直 営 店	北海道東北地方	13	3	147	10	4	153	16	2	167
	関東甲信越地方	35	11	319	37	8	348	45	8	385
	東海北陸地方	25	10	324	17	8	333	30	10	353
	関西地方	24	4	177	29	8	198	18	2	214
	中国四国地方	10	2	64	19	2	81	17	2	96
	九州沖縄地方	10	3	143	12	3	152	14	12	154
	直営合計	117	33	1,174	124	33	1,265	140	36	1,369
F C 店	北海道東北地方	0	2	12	0	1	11	0	1	10
	関東甲信越地方	0	1	10	0	1	9	0	0	9
	東海北陸地方	0	3	16	0	1	15	0	2	13
	関西地方	0	1	3	0	0	3	0	0	3
	中国四国地方	1	3	16	0	12	4	0	0	4
	九州沖縄地方	1	1	17	0	1	16	0	0	16
	FC合計	2	11	74	0	16	58	0	3	55
全社合計		119	44	1,248	124	49	1,323	140	39	1,424

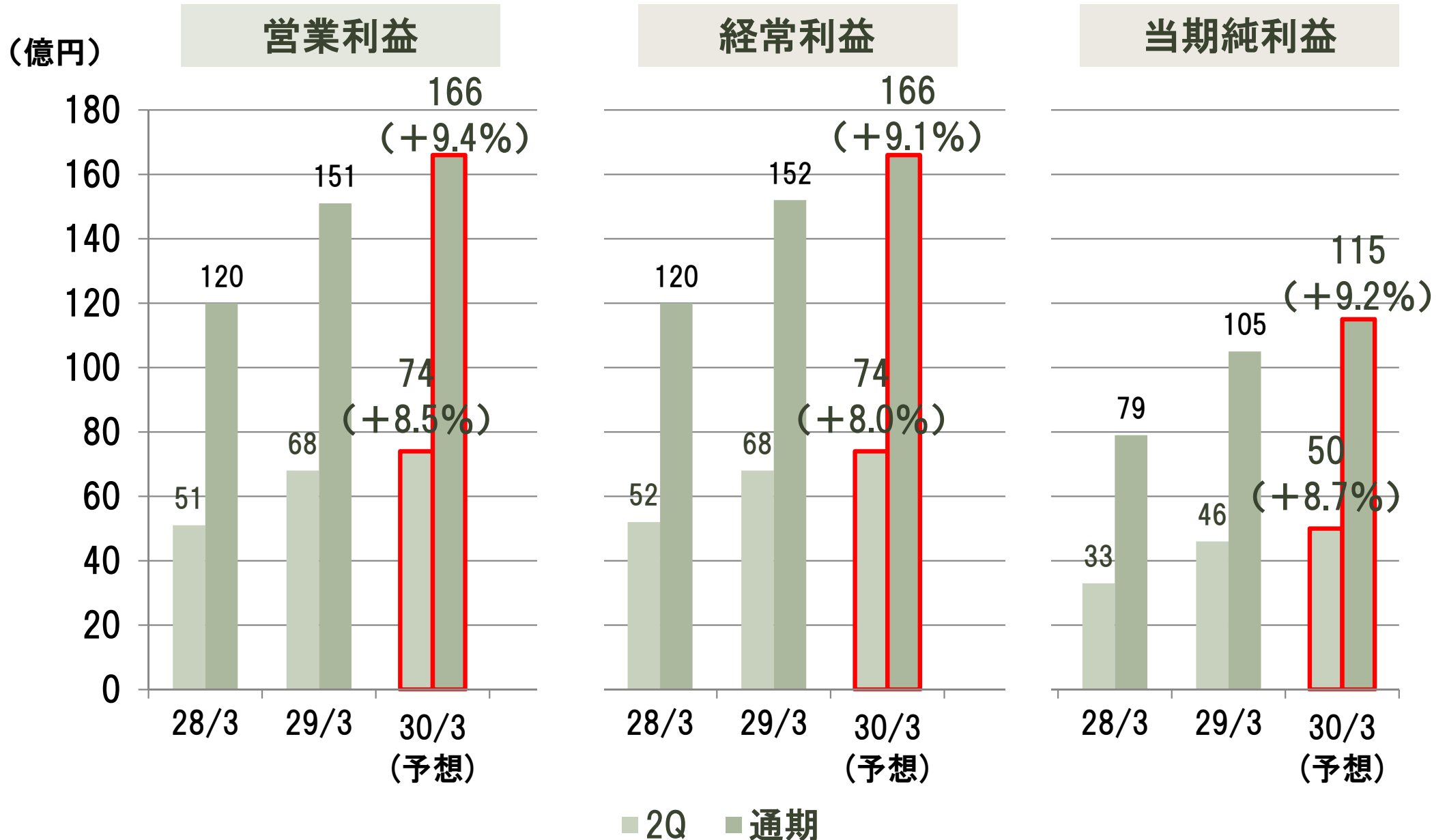


# 売上高の推移および予想

(億円)



# 利益の推移および予想



# 30年3月期の業績予想

(単位:百万円)

	29年3月期実績			30年3月期予想		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	69,887	75,441	145,328	75,900	82,100	158,000
営業利益 (売上比)	6,819 (9.8%)	8,352 (11.1%)	15,171 (10.4%)	7,400 (9.7%)	9,200 (11.2%)	16,600 (10.5%)
経常利益 (売上比)	6,854 (9.8%)	8,364 (11.1%)	15,218 (10.5%)	7,400 (9.7%)	9,200 (11.2%)	16,600 (10.5%)
当期純利益 (売上比)	4,601 (6.6%)	5,932 (7.9%)	10,533 (7.2%)	5,000 (6.6%)	6,500 (7.9%)	11,500 (7.3%)

## 業績予想の前提

直営既存店前年比 100.4%(上期100.5%、下期100.3%)

直営出退店 出店 150 退店 45

FC出退店 出店 0 退店 6

既存店、出店数はほぼ横ばいを見込む(移転により退店は増加)。

---

# 当社の取組み

## ■ 商品政策

---

- ・販売分析強化による確実性の高い新商品の導入
- ・商品の規格・スペック等のコントロール強化
- ・当社専売商品の拡充

## ■ 店舗政策

---

- ・多様な出店ニーズへの積極的対応
- ・持続的な出店拡大を見据えた店舗開発・運営基盤の強化

## ■ 業務効率化

---

- ・働きやすさと効率化の両立を継続的に実行
- ・物流オペレーション改革による効率性向上